

「STAGE CHANGE」

大災害へ備える防災・減災対策の強化



▲にぎわいを見せる「せとうちみなとマルシェ」の会場

「することが必要だと考えています。」

そのために「Z世代」

記者

「α世代」と呼ばれる若者たちの声を拾い上げ、いつまでもふるさと今治に愛着を感じ「いつかは戻りたい」「関わり続けたい」と思ってもらえる政策を研究し、事業化

市長

政策の大屋根である「瀬戸内クロスポイント構想」をさらに前進させ

「成長エンジンの1つ(株)今治あきない商社」は、稼働時に約10億円だつたふるさと納税額を1年半で3倍の30億円規模にまで拡大しました。

るため、1期目で立ち上げた今治経済の成長エンジンをさらに強化します。

市長

南海トラフ地震の発生が懸念される中、市民の命と暮らしを守るための備えは欠かせません。

避難所の設備改善、要配慮者の避難支援体制整備、地域防災リーダーの育成といった「事前の備え」を強化すると

記者

市民の皆さんに最後にメッセージをお願いします。

子育て世代が集う拠点作りを

市長

時代の変化が激しい今だからこそ、現状維持は衰退を意味します。「市民が真ん中」の今治市では、まちづくりの主役は市民の皆さんです。皆さんの声に真摯に耳を傾け、共にこのまちの未来を創っていきたくと考えています。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記者

教育や子育て支援にも触れていましたが、詳しくお願ひします。

市長

子どもたちの教育については一人ひとりの特性や学習進度に合わせた「個別最適教育」と、英

記者

防災対策も重要課題です。どのような方針でしょうか。

徳永 繁樹 市長

平成15年、愛媛県議会議員選挙で初当選以来、5選。令和3年に行われた今治市長選挙で初当選し現在2期目。スポーツ全般、観戦も趣味。

